

日曜の朝に

心に寅さんがいる幸せ

くらし家庭



警固公園の喫煙所。たばこを吸う人がひっきりなしに立ち寄る。大濠公園に設置された看板。遊具近くで喫煙しないよう呼びかけている

## 対策に温度差 九州・山口

読売新聞は8月、九州・山口各県と県庁所在市、政令市の8県9市が管理する都市公園について、受動喫煙対策を調べた。

全公園を完全禁煙にしているのは山口市と宮崎市のみ。熊本県と長崎、熊

本両市は一部の公園を完全禁煙とし、喫煙所を設けて分煙する公園もあるとした。

それ以外の7県5市は完全禁煙の公園はなく、一部の公園に喫煙所を設けて分煙。大分市は「ベンチでたばこを吸う人がいて不快」などの苦情が寄せられ、サイトで公園利用者に「周囲に人がいるときは喫煙しないなどの配慮を」と呼びかける。

8月下旬の平日の昼時、福岡市・天神の警固公園にある喫煙所で、10人ほどの男女が繁煙をくゆらせていた。近くのビルに勤務する男性会社員(29)は、「社内が禁煙で休憩時によく来るたばこを吸える場所が減つていいので助かります」と話した。

少し離れた滑り台で長男(2)を遊させていた母親(34)は「懇いの場なのに煙が臭うのは嫌だし、子どもによくない」と顔をしかめた。

同市公園部運営課によると、市が警固公園に喫煙所を設置したのは昨年7月。法改正に伴って屋内施設の喫煙所の撤去が進むにつれ、喫煙者が公園に集まり、「子どもや休憩している人もいて迷惑」「禁煙にして」などの苦情が相次いだ。そこで分煙やポイ捨て防止のため、やむを得ず設置したという。担当者は「分煙しても喫煙者が押し寄せる状況は変わらず、対応に苦

2020年の改正健康増進法全面施行で屋内施設は原則禁煙になつたが、屋外にある公園は規制の対象外で、中には喫煙者が集まる公園もある。公園での受動喫煙防止策は、自治体ごとにばらつきが生じている。(高梨恵)

市は、以前は分煙対策として灰皿を置いてだけの喫煙所が8か所あったが、「煙が臭う」「人通りの少ない場所に移して」などの苦情があり、昨年12月に3か所に減らしたうえで周囲を柵

慮している」と頭を抱える。同市中央区の福岡県営大濠公園は、以前は分煙対策として灰皿を置いてだけの喫煙所が8か所あったが、「煙が臭う」「人通りの少ない場所に移して」などのか所に減らしたうえで周囲を柵

で囲った。当初、歩道から離れた目立たない場所に移す案も検討したもの、「喫煙所以外の場所で吸われ、ポイ捨てを招く恐れもある」として見送った。県公園街路課の担当者は「喫煙者と非喫煙者が共存できる環境づくりに努めたい」と話す。

公園を完全禁煙とする自治体もある。宮崎市は、都市公園条例に以前から禁止行為として「喫煙すること」を盛り込む。市内の都市公園は全て禁煙で、分煙のための喫煙所もない。

山口市は条例では公園での喫煙を禁じていないが、市管轄の62の都市公園を禁煙とし、一部の公園では看板で周知に努める。市都市整備課の担当者は「今は、禁煙に関する追記も必要と考えている」と説明する。

法改正を受けて新たに条例を設ける例もあり、広島県東広島市は今年4月に「受動喫煙の防止に関する条例」を施行し、条例に基づいて市内の14公園を受動喫煙防止区域(禁煙区域)に指定した。同様の条例を、大阪

## 条例で禁煙進む

公園を完全禁煙とする自治体もある。

府寝屋川市が2020年10月、東京都三鷹市と清瀬市が昨年4月に施行している。

10年の厚生労働省健康局長通知は「屋外であっても子ども利用が想定される公共的な空間では、受動喫煙防止のための配慮が必要」としている。日本禁煙学会理事で「子どもに無煙環境を推進協議会」(堺市)代表理事の野上浩志さんは「公共性の高い公園は、学校などと同様に敷地内禁煙とし、喫煙所も撤去するのが望ましい」と語る。